

ベッドタウン「子育て×都市農地」 大人も子どもも笑顔になるまちづくり！

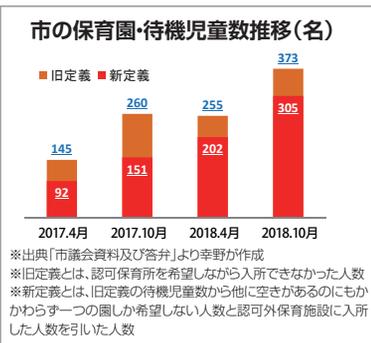
魅力あるまちを目指し、子育て・教育インフラの充実を最優先！

人口・児童数が増加する中、市の対応が遅れている為、保育園の待機児童数は「202名(2018年4月・全国ワースト15位)」、学童保育所は大半の施設で「すし詰め・狭あい」状態、小学校の「教室不足」「校庭狭小」が深刻になっています。

保育園の待機児童対策に全力

幸野 保育園政策として「新規で民間保育園を誘致するとともに、待機児童解消に逆行する公立保育園の民営化を中止すべき」→一部前進していますが、待機児童解消に逆行する「公立保育園の民営化」を続けています。

参考：保育園1園整備の市負担 約2,000万円



教室不足・校庭狭小の抜本的改善

幸野 学校政策として「教室棟の建築は『平屋建て』ではなく最低でも『2階建て以上』にすべき」「狭すぎる校庭の学校は、近隣と拡張交渉を進めるべき」と提案→一部、前進していますが、「平屋建てに固執する」等、不十分な対応について論戦中です。



また教育政策については「『映画みんなの学校』を参考に、不登校児や特別支援児等、すべての子ども達が進める学校づくりの検討を」と提案中。

小学校の児童数推移及び2019~の市教委推計(名)



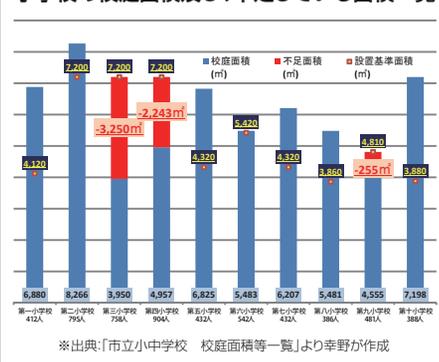
学童保育所の狭あい状況改善・4年生以上の受け入れ

幸野 学童保育所政策として「新規で民間学童保育所を誘致するとともに、公立学童保育所の新規整備を」→一部前進していますが、「平屋建てに固執する」等、不十分な対応について論戦中です。

参考：学童保育所1カ所整備の市負担 約6,000万円



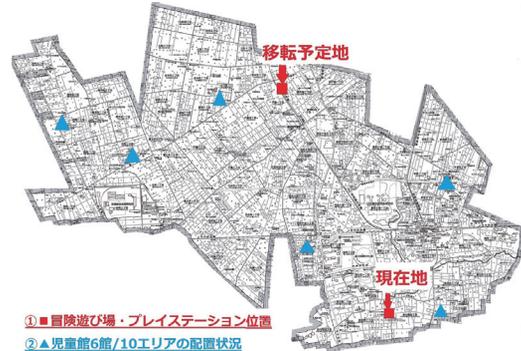
小学校の校庭面積及び、不足している面積一覧



都市農地等を活用し、子ども達のがのびのび過ごせる居場所を増やそう!

「のびのび遊べる場所を増やしてほしい」という声は、子育て世代から最も求められている願いです。

幸野 「冒険遊び場・プレイステーションは移転前提ではなく増設を」「天候に関係なく過ごせる児童館を、全ての小学校エリアに」と提案しています。しかし、市は両施設とも「増設する計画はない」と後ろ向きな為、幸野は「両施設では、いじめや虐待に気付き、不登校児の居場所としても重要な施設」と指摘、都市農地の活用も含め提案中です。また幸野は「放課後子どもプランの専用部屋の確保や、市職員・プレイリーダーを配置する事」等、放課後の居場所充実を求めています。



Article 誰もが安心して暮らせる福祉・人権・バリアフリーのまちづくりを目指して! ※詳細はブログ、Twitterを参照

高齢者・障がい者・LGBT

- ・国民健康保険の会計操作を追及し、2015年度~4年間値上げをストップ! ●
- ・特別養護老人ホーム、障がい者グループホームの増設を提案 ●
- ・福祉人材の確保をめざし、「独自処遇改善」を提案中
- ・ご遺族の手続きを簡素化する「支援窓口」を提案中 ▲
- ・LGBT 性の多様性を保障する条例・障がい者差別解消条例を提案中

環境・防災

- ・耐震診断・耐震改修助成制度及びブロック塀の撤去・改修補助制度の拡充 ●
- ・被災地ボランティアの体験を基に「災害支援協定」を提案 ●
- ・感震ブレイカーの設置促進 ●
- ・太陽光パネルへの設置補助 ●
- ・こくベジを福祉や教育現場に拡大するよう提案中 ▲
- ・「環境部」を「建設環境部」に統合することに反対 ×

人権・憲法

- ・日本国憲法や自治基本条例に基づき、国分寺まつりで除外されていた市民団体の参加復活 ●



バリアフリーのまちづくり

- ・バリアフリー基本構想の策定を軸に、恋ヶ窪駅東口開設、西国分寺駅東口開設を提案中
- ・公共施設にエレベーター・誰でもトイレ設置等、バリアフリー化を提案中 ▲
- ・国分寺駅周辺や、公共施設の駐輪場・駐車場増設を提案中▲ → 一部 ●
- ・東恋ヶ窪地域へのぶんバスルートの拡充・充実 ●



子育て・教育

- ・小中学校のトイレ老朽化対策 ●
- ・小中学校体育館への冷暖房設備の設置を提案中 ▲
- ・子育て支援サイトの立ち上げを提案中 ▲
- ・子どもの医療費無償化の拡大 ●
- ・一度示された保育料の大幅な値上げ(2018年度~)を論戦でストップ ●
- ・公民館・図書館の利用促進政策を提案中
- ・学生ボランティア政策の確立で、人材育成を提案中 ▲

議会改革

- ・質問回数、質問時間、パネル使用「トップクラス」 ●
- ・インターネット中継の拡大、資料掲載 ●

詳細は
コチラを参照

BLOG

Twitter

